

高速道路でバス事故を想定した訓練

令和6年5月30日(金) 小矢部市下後亟の能越自動車道小矢部料金所付近で5 機関約 60 人が高速道路でのバス事故を想定し、交通規制や負傷者救出の流れと連携を確認しました。

外国人を含む乗客を含む観光バスが、大型トラックと正面衝突し死傷者が多数いるとの想定で実施しました。救護所を設置しバスから負傷者を運び出し、トリアージを行って病院に搬送しました。



参加機関：富山県警、砺波地域消防組合小矢部消防署、北陸信越運輸局、県バス協会、民間バス会社